



第367号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086) 420-1311



ひたすら感謝

かんしや



カット：本多紘子

8月は先祖様を偲ぶお盆月、今年は新型コロナウイルスの感染予防のために、都会に働きに出ていた人たちが故郷に帰りにくくなつていたり、地方の祭りも中止が多く寂しいですね。皆様お元気ですか。

7月始めから日本付近に居座った梅雨前線が停滞し、各地で記録的な大雨をもたらした。熊本県では球磨川、大分県・福岡県では筑後川が氾濫し、長崎県や鹿児島県でも豪雨で土砂崩れなどの被害もあり、九州豪雨と名付けられました。中部地方の岐阜県や長野県でも河川が氾濫、また中国地方の島根県でも江の川が氾濫し、異常な長雨は一昨年の西日本豪雨の11日間を抜き最長となりました。7月15日現在、死者は14県で75人、行方不明者11人で本場にいたしました。

政府は豪雨被災地支援に4000億円を投じると表明したのは素晴らしいことですが、河川の氾濫で家屋が浸水し、畳みも布団も電化製品も生活必需品も何もかも泥だらけで災害廃棄物となり、片づけが思うようにいかない人を、何とかしてあげたいですね。最近では災害があれば自衛隊だけでなく、全国各地からボランティアの人が集まってきました。片づけ等の災害支援を下さっていたが、今年は新型コロナウイルス感染の心配で、ボランティア活動が制限され残念です。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

地球温暖化の影響で、世界各地で豪雨や長雨による河川の氾濫に寄る土砂災害や、また早魃で穀物生産が出来ず飢餓にあえいでいる地域が増えています。そこにコロナウイルスの世界的流行で、救援物資を運んだり、医療関係者の派遣も出来ず、なんとも悲惨です。

人間の死因の一番多いのは病死です。人類は過去にたくさんの争いをおこし戦争をしてきました。しかし戦場でお互いの武器によって負傷し死亡する兵士より、戦場でかかった病気で死亡する人のほうが多かったです。過去の戦争において勝利できたのは、たちの悪い病原菌に対して免疫を持っていた側が、免疫の持っていない相手側にその病気を移すことで勝利しています。今回の病原菌であるコロナウイルスは発生7ヶ月で世界の人を60万人以上も感染死亡させています。

感染症といえば、天然痘、インフルエンザ、結核、マラリア、ペスト、麻疹、コレラなどの恐ろしい病気を思い出します。これらの感染症はもともと動物がかかる病気だったようですが、今では人間だけが感染して動物は過去の病原菌に感染しないとされています。

奈良時代に聖武天皇の后となられた光明皇后をご存知でしょうか。皇后は仏教に深く帰依し、東大寺、国分寺の設立を夫に進言したと伝えられています。貧しい人たちに施しをするための施設「悲田院」や病人を診る医療施設である「施薬院」を設置して、病人や孤児たちの救済事業に取り組んでいます。有名な伝説に、光明皇后が法華寺の浴室で、千人の人の垢を流すという誓いを立てて洗っていると、最後の千人目の人が皮膚から膿が出ている癩病（ハンセン病）患者でした。皇后は患者の膿を自ら口で吸ったとあります。国立ハンセン病療養所である瀬戸内市の邑久光明園はこの逸話から名づけられています。

『観無量壽経』に「仏心とは大慈悲これなり」とありますが、仏様とは困っている人を慈しみ、共に悲しむ心をいうのです。医療従事者の人たちが、身の危険を顧みずコロナウイルス感染者を救って下さる姿に、ひたすら感謝で頭が下がるばかりです。合掌（奥原 曇龍）

『人類は感染症とともにあり 死ぬ人あれば死なぬ人あり』 どんりゆう

ともしび説法

日時・八月二十日「木曜日」 午前十時から昼十二時まで。
九月 七日「月曜日」 午前十時から昼十二時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



カット：奥原 綾



お釈迦様ものがたり 46

仏教教団にサーリプッタ(舍利弗)とモツガラーナ(目犍連)が入団したことは、お釈迦様にとつても力強く、自分が覚られた縁起の法が正しく伝わる喜びを感じています。

双璧の二人が入団して間もなく、後の仏教教団に大切な役割を果たしたマハーカッサパ(大迦葉)が仏弟子となります。カッサパ三兄弟と区別して大カッサパと呼ばれ、厳粛な生活においては第一であるとせられ、お釈迦様の滅後には最高の長老として、仏典編纂会議の座長となり、仏の教法を後世に伝える大事な仕事をしていきます。

マハーカッサパはマガダ国王舎城の付近の大富豪のバラモンに生まれ、もろもろの学問を修得し、叡智聡明・利根多巧でした。しかし、世間を厭う心深く、欲の不浄なる事を知り、心は涅槃の安らかさを求めていた。学生期を卒業して、同じバラモンの富豪の娘であるパツダカピラーニーと結婚したけれども、夫婦共に世俗の欲楽を求めず、二人共に外教に出家します。

マハーカッサパは修行中に、お釈迦様の噂を聞き、王舎城の北方にある多宝塔において出逢い、お釈迦様に認められ教団に入り、第八日目には覺りを開いて阿羅漢となります。その際は自ら着けていた新しい袈裟をお釈迦様に差し上げ、お釈迦様の古い袈裟をもらい受けました。彼はこの古い袈裟をボロボロになっても修復し、大切にされたそうです。妻のバツダカピラーニーは夫と別れ、外教に出家していましたが、善き師に恵まれていませんでした。お釈迦様の仏教教団に男性だけでなく、女性も出家して入団が許されるようになり比丘尼の僧伽が成立します。そこでマハーカッサパは妻との約束である「尊き師に出逢うと必ず知らせる」を思いだし、妻をお釈迦様のもとへ呼び寄せます。彼女は修行に勤しみ阿羅漢を得ます。合掌(奥原曇龍)

盆が来たふる里だれも帰られぬ 先祖も寂しともしび仄か 田辺多恵子



7月6日 ともしび説法にて

ともしび法話

8月は先祖を偲ぶお盆の季節。猛暑の夏を皆様がいかがお過ごしでしょうか。

7月4日から8日にかけて、日本列島に線状降水帯が停滞、九州や岐阜・長野県で豪雨が降り河川が氾濫、多くの死者と被災者が出て残念です。一日でも早く復興を！ 心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

今年も新型コロナウイルスの流行で、心を痛めています。我が家の庭には紫陽花の花が梅雨にきれいな花を咲かせました。初夏には夏野菜を収穫、日々を大切に歩んでいます。 倉敷市黒崎 早瀬小夜子

「ともしび」を楽しみにしています。ここ数年の自然の変わりよう、何か自然が人間に怒り、これ以上自然を壊さないように訴えているように感じます。温暖化もコロナ発生の一因かも知れませんね。 都窪郡早島町 金丸 龍美

コロナの流行で不要不急の外出は自粛しています。ときどき買い物に行きます。家の中に閉じこもっていると病気になるようです。 倉敷市 磯永 充利

ともしび説法

日時・八月二十日「木曜日」 午前十時から昼十二時まで。
九月七日「月曜日」 午前十時から昼十二時まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

十月二十二日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
十一月三日(火)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。
午前・詩吟と扇舞、ピアノ演奏 午後・報恩講法要と仏教講演。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

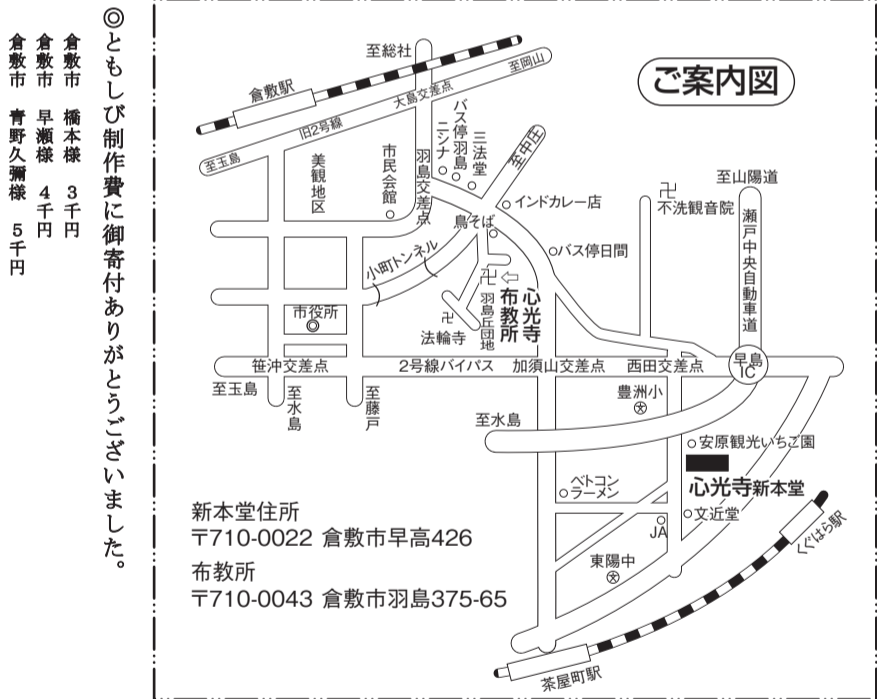


いころの詩

今年もお盆が来たよ
なつかしい人を偲びながら
にぎやかに昔の事を語る
ぬくもりのあつた人の情けも
年々に薄くなるのは寂しい
野も山も川もみな変わっていく
子供のころの故郷はもうない



カット:吉岡美枝



浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらおうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「367号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健